

科目名	文化総合1（オムニバス授業）					単位	2.0
担当教員	浅野 玄誠・渡邊 幸彦・小田 則子・福田 琢						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	5503

●授業のテーマ

映画から見た世界

●到達目標

映画を取り巻く世界の状況を理解し、映画の中から問題点を指摘できるレベルに到達する。

●学習内容(授業概要)

商業文化として誕生して100年あまり、映画は、時に人々の生活を映し出す鏡として、時に社会批判・政治風刺の道具として、世界中の国々で最も広く受け入れられてきた媒体であるといえるでしょう。日本においても、映画は長く娯楽の中心でありましたし、最近ではDVD、BDの低価格化や新しいタイプの映画館の誕生、ネットの普及などによって世界の映画が気軽に楽しめる時代になり、映画はより身近な存在になりつつあります。

21世紀を迎えた今、映画に映し出された世界を通して、20世紀の文化を振り返り、かつ現在の世界を考えてみたい。それが本講義の目的です。

6名の講師が、それぞれの専門領域に関連して、ヨーロッパからアジア、そして日本の映画と文化について順に語っていきます。実際に様々な映画を鑑賞しながら、世界を体感してみてください。

●学習内容(授業計画)

- 1 ガイダンス
- 2 映画から何を学ぶか
- 3 映画から見る世界（ロシア）
- 4 映画から見る世界（東欧）
- 5 映画から見る世界（中国）
- 6 映画から見る世界（中国）
- 7 映画から見る世界（東南アジア）
- 8 映画から見る世界（タイ）
- 9 映画から見る世界（香港）
- 10 映画から見る世界（インド）
- 11 映画から見る世界（インド）
- 12 企画
- 13 映画から見る世界（こども）
- 14 映画から見る世界（こども）
- 15 まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前に、ガイダンス時に提示されるスケジュールに基づいて、講義に必要な基礎知識を習得しておくこと。事後は、講義時に提示された問題点を再度映画を見ながら考察しておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点 10 割

●テキスト（必携）

●参考文献／その他
私語・遅刻厳禁。

●履修上の注意
各講師ごとにレポート課題を出すので、講義時の注意をよく聞くように。